

世界

綿花 2017/18年度の綿花在庫、中国以外が増加見通し

国際綿花諮問委員会(ICAC)によると、2017/2018年の世界の綿花生産は、前年比10%増の2,540万トンとなる見込み。2016/17年に綿花価格が高水準で推移していたこと、2017年は競合作物に対して綿花の価格優位性があったことから、2017/2018年の世界の綿花作付面積は、前年比約300万ヘクタール増加し、3,200万ヘクタールを超えた。綿花生産は、米国、インド、中国、パキスタン、ブラジル、トルコ、西アフリカ等ほとんどの綿花生産国で増加する見込み。

2017/2018年の世界の綿花ミル消費は、前年比2.7%増の2,520万トンとなり、前年度の伸び率(1.6%増)を上回る見込み。中国が世界最大の綿花消費国であり、2017/2018年の消費量は前年比1.5%増の810万トン。その他、インド、パキスタン、トルコ、バングラデシュ、ベトナム、ブラジルの綿花ミル消費も緩やかに増加する見込み。

2017/18年の世界の綿花貿易は、約800万トンで前年比ほぼ横ばいの見込み。米国が世界最大の綿花輸出国で310万トン、約40%を占める。一方、綿花輸入はバングラデシュが世界最大で140万トン、全体の18%を占める見込み。

2017/18年の綿花期末在庫は、綿花生産の伸びが綿花消費の伸びを上回ることから、1,870万トンと前年末をやや上回る見込み。但し、在庫率(在庫/消費)は75%と横ばい。中国の在庫は前年比170万トン減少するが、中国以外の在庫は185万トン増加する見込み。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2015/16	2016/17	2017/18
生産	21.48	23.05	25.38
消費	24.18	24.56	25.22
輸入	7.57	8.00	7.93
輸出	7.55	8.15	7.93
期末在庫	20.24	18.55	18.70
価格*	70	83*	69*

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。